

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-5-7	事務事業名 自転車駐車場整備センターの活用	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	--------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 自転車利用者の利便性の増進及び道路交通の安全と円滑化を図るため、自転車駐車場の整備及び管理に関する事業等を自治体からの依頼(要望)を受けて実施している。	総合計画上の位置づけ
	実施内容、実施方法 西東京市の依頼(要望)により、市内5駅の各南北口に現在合計19箇所 の自転車駐車場(有料)を設置し、管理運営を行っている。	根拠法令等 西東京市自転車等の放置防止に関する条例
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(協定)

評価指標の設定	活動指標名 センター運営日数	活動指標の考え方(定義) 1年間の運営日数
	収容可能台数	全体での収容可能台数
	成果指標名 収容申込台数	成果指標の考え方(定義) 収容申込があった台数
	収容率	(実収容台数 / 収容可能台数) × 100

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		23,639	23,886	23,938	2,130	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		23,639	23,886	23,938	2,130	
	所要人員(B)	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	82	83	83	83	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	23,721	23,969	24,021	2,213	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(収容台数)	千円	64.99	65.67	65.81		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	日			365	365
		実績値	日	365	365	365	
	活動指標	目標値	台			1,024,386	1,024,386
実績値		台	1,024,386	1,024,386	1,024,386		
成果指標	目標値	台			1,038,416	1,024,386	
	実績値	台			1,038,416		
成果指標	目標値	%			100	100	
	実績値	%			100		

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 8-5-7	事務事業名 自転車駐車場整備センターの活用	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	--------------------------	--------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	自転車駐車場(有料)が設置されている駅周辺の放置自転車等の減少
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	市内にマンション及び住戸が多数建設され、各駅の利用人口が、年々増加している。 今後益々必要性がでてきている。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	自転車駐車場建設に関しても、資金調達及び金利に関してもセンターの自己資金を活用している事と、補助金等の制度として日本自転車振興会補助金及び(財)日本宝くじ協会助成金の適用を受けることにより市直接の建設より効率性が良い。 なお、管理運営についてもセンター管下で実施しているため、係員を研修等で教育しており、利用者に対して専門的かつ対応が良く、組織が大きいため勤務人員に穴があかなく非常に効率が良い。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	当センターは公益法人(財団法人)であるために、黒字を出すことも赤字を出すことも無く、設置及び管理運営に関して常に公平な立場に立っている。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	当市の様に財政的に余裕がない市にとって、財団法人 自転車駐車場整備センターは不可欠な存在である。 今後、新規の自転車駐車場建設の際は、当センターの活用が期待される。

17年度における改善点	当年度に於いては、前年度の1月に協定を更新し管理期間の延伸をした事により、旧田無地区の利用者助成費を旧保谷地区と同じセンター負担とした。 保谷駅南口の自転車駐車場建設についてもセンターを活用した。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。